

平成 23 年 3 月 18 日

このたびの東北地方太平洋沖地震により、お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。弊社では被災地の一日も早い復興に、微力ではございますが協力して参りたい所存です。

被災地において、今後指摘される懸念は衛生管理の問題です。

地震に加え、津波により壊滅状態となった被災地では、汚水や排水、ゴミ等の腐敗などにより、細菌の急激な増殖に伴う強烈な悪臭や感染症のリスクが高まってきます。

被災者や救済に携わる人達にかかるストレスは想像以上に大きく、日を追うごとに体力を奪っていきます。免疫力の低下により、平常では罹らない感染症が発症することもあります。特に乳幼児や高齢者には、この面でのケアが重要となります。

新潟中越地震の際にはノロウイルスが蔓延し、被災者に二次的な被害をもたらしました。

除菌消臭剤による衛生管理の重要性を投げかけてきた弊社と致しましては、被災地の復興にあたり、健全な衛生管理の環境整備が不可欠と考えており、微力ではございますが被災地への衛生環境の向上に寄与して参ります。

また、被災地への支援を検討されている企業様を募ると共に、協力して進めて行けば、少しずつではありますが大きな力の原動力になるものと確信致しております。

一日も早い復興を願うと共に、元気な日本を取り戻すために、今こそ協力すべき時だと考えております。

株式会社バイオフィース

代表取締役 土金 毅